

改訂 マスター栄養教育論実習 ワークシート

学部

学科

学籍番号

氏名

目 次

()は本文頁

ワークシート 1-1	対象者の状況の整理	1	(3)		
ワークシート 1-2	栄養カウンセリングの準備	2	(5)		
ワークシート 1-3	栄養カウンセリングの観察シート	3	(6)		
ワークシート 1-4	ロールプレイの振り返り	4	(7)		
ワークシート 1-5	対象者別身体計測法と体格指標	5	(9)		
ワークシート 1-6	身体計測記録票	6	(10)		
ワークシート 1-7	食事記録法(秤量法)を用いた食事調査	7	(12)		
ワークシート 1-8	24時間思い出し法を用いた栄養アセスメント	8	(14)		
ワークシート 1-9	食事記録法(秤量法)と24時間思い出し法の 特徴のまとめ	9	(15)		
ワークシート 1-10	インタビューガイド	10	(17)		
ワークシート 1-11	逐語記録票	11	(18)		
ワークシート 1-12	重要アイテムの抽出とカテゴリー化	12	(19)		
ワークシート 1-13	アンケート調査の目的と必要性	13	(21)		
ワークシート 1-14	質問文, 回答選択肢の作成と修正	14	(22)		
ワークシート 1-15	公的機関や研究所による二次データ	15	(25)		
ワークシート 1-16	文献検索データベースによる検索結果	16	(25)		
ワークシート 2-1	MI不一致の種類	17	(28)		
ワークシート 2-2	よいところに着目した対応例(台詞)	18	(29)		
ワークシート 2-3	チェンジトークを強化する聞き返し	19	(33)		
ワークシート 2-4	チェンジトークを引き出す方法と台詞	20	(35)		
ワークシート 2-5	MIの実際(準備段階)	21	(37)		
ワークシート 2-6	MIの実際(実行段階)	23	(39)		
ワークシート 2-7	MIの実際(重症化予防の段階)	26	(43)		
ワークシート 2-8	MIの評価	27	(44)		
ワークシート 3-1	} SP演習 栄養アセスメントと指導計画	28			
ワークシート 3-9					
				栄養アセスメントと課題	(95.97.99)
				目標設定	(95.97.99)
			個人栄養食事指導案	(95.97.99)	
ワークシート 3-10	} SP演習 フィードバック	29			
ワークシート 3-11					
			演習後のフィードバック内容	(100)	
			フィードバックを受けての感想	(100)	
ワークシート 3-12	OSCE アセスメント票	30	(104)		
ワークシート 3-13	OSCE 振り返りシート	31	(105)		
	OSCE 評価シート(観察者(教員)用)	33	(107)		
	OSCE 評価シート(SP用)	34	(108)		
	〈第3章記録用紙〉				
	栄養教育の計画・評価	35			
	栄養教育の実施・評価	37			
	栄養教育の評価	38			

●ワークシート1-1：対象者の状況の整理

学籍番号		氏名	
患者氏名 年齢 () 歳, 性別 (男・女)			
健康や食行動に対する認識や知識, 栄養教育に対する意欲等			
身体状況の実態			
課題			
対象者の行動変容の準備性			

●ワークシート1-2：栄養カウンセリングの準備

学籍番号		氏名	
行動変容の準備性の把握のための質問			
目標の設定			
有効な働きかけ・技法			
初回面接に用いる媒体, 資料			

●ワークシート1-3：栄養カウンセリングの観察シート

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

観察者名： _____

項目	対象者（ ）の態度	管理栄養士の受け止め方 (傾聴, 受容, 共感, ブロッキング, 繰り返し, 確認等)
言語的・準言語的表現 (気持ち, 感情等)		
非言語的表現 (声・視線・表情の変化, ジェスチャー等)		
質 問		
その他		

●ワークシート1-4：ロールプレイの振り返り

学籍番号		氏名	
<p>◎管理栄養士</p> <ul style="list-style-type: none">・カウンセリングの技法を用いて栄養カウンセリングを進めることができたか。・適切な応答や質問をすることができたか。・行動変容の準備性を把握し、目標を設定することができたか。・対象者の気持ちに寄り添い、ラポールを形成することができたか。			
<p>◎対象者</p> <ul style="list-style-type: none">・初回面接を受けてどのような気持ちになったか。・管理栄養士に自分の考えや食生活について正直に話すことができたか。・栄養カウンセリングを受けて自分の食生活に対する気づきがあったか。・現状を改善するために具体的な行動を起こそうという気持ちになったか。・この管理栄養士ともう一度話をしたいと思えたか。			
<p>◎観察者</p> <ul style="list-style-type: none">・カウンセリング技法を効果的に用いていたか。・対象者の感情に飲み込まれていなかったか。・対象者に対する心理ブロック（思い込み、決めつけ）はなかったか。・対象者に対して批判的、否定的なかわりはなかったか。・一方的な指導となっていなかったか。・管理栄養士、対象者はそれぞれの役割を演じることができていたか。			
<p>◎総合</p> <ul style="list-style-type: none">・対象者の行動変容の準備性はどの段階であったか。・どのような行動変容技法や行動科学理論の活用が有効か。			

●ワークシート1-5：対象者別身体計測法と体格指標

学籍番号			氏名		
対象者	身体計測法		体格指標・判定基準		
乳 幼 児	身長 体重				
見 童 生 徒	肥満度 (%)				
寝たきりの 高 齢 者 (立位が取れない場合)	身長		/		

●ワークシート1-6：身体計測記録票

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

様（男性・女性）年齢 歳の身体計測結果			
計測日： 年 月 日			
計測者： _____			

項目	計測値			
	1回目	2回目	(3回目)	平均値
身長 [BH]	cm	cm	cm	cm
体重 [BW]	kg	kg	kg	kg
膝高 [KH]	cm	cm	cm	cm
肩甲骨下部皮下脂肪厚 [SSF]	mm	mm	mm	mm
上腕周囲長 [AC]	cm	cm	cm	cm
上腕三頭筋皮下脂肪厚 [TSF]	mm	mm	mm	mm
下腿周囲長 [CC]	cm	cm	cm	cm
腹囲（臍部）	cm	cm	cm	cm

項目： 計算式, 参考値	値
身長 <small>の推計</small> ： 男性 $64.02 + (\text{膝高} \times 2.12) - (\text{年齢} \times 0.07)$ 女性 $77.88 + (\text{膝高} \times 1.77) - (\text{年齢} \times 0.10)$	cm
BMI： 体重(kg) ÷ [身長(m)] ² , JARD 基準値 ()	kg/m ²
標準体重 [IBW]： [身長(m)] ² × 22	kg
%IBW： 体重 ÷ IBW × 100	%
皮下脂肪厚： SSF + TSF	mm
%AC： AC ÷ JARD 基準値 () × 100	%
%TSF： TSF ÷ JARD 基準値 () × 100	%
上腕筋囲長 [AMC]： AC (cm) - TSF (mm) ÷ 10 × 3.14	cm
%CC： CC ÷ JARD 基準値 () × 100	%

●ワークシート1-7：食事記録法（秤量法）を用いた食事調査

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

年 月 日 () 【1日目・2日目】

食べたもの、飲んだものは全て記入し、残した場合の分量も記してください。

区分	料理名	食品名	重量 (g) (目安量)	残した分量
朝食				
昼食				
夕食				
間食				

●ワークシート1-8：24時間思い出し法を用いた栄養アセスメント

学籍番号				氏名		
調査日 年 月 日 ()			調査時刻	:	氏名	
年齢 歳	性別	男・女	職業	家族構成		
行動の思い出し						
	料理名	食品名	目安量	重量 (g)	備考	
朝食						
食事形態						
内食						
中食						
外食						
昼食						
食事形態						
内食						
中食						
外食						
夕食						
食事形態						
内食						
中食						
外食						
間食						
生活習慣や食行動で気づいたこと (調理の有無や食への関心, 行動変容の準備性, 運動習慣など)						

●ワークシート1-9：食事記録法（秤量法）と24時間思い出し法の特徴のまとめ

学籍番号			氏名
	食事記録法（秤量法）	24時間思い出し法	
特徴			
長所			
短所			
写真撮影法と併用の効果			

●ワークシート1-10：インタビューガイド

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

〈例題1〉

テーマ	新生活から始める健康習慣
目的	新入生の健康に関する準備要因，実現要因および強化要因を把握し，健康的な食生活を送る上での課題を明らかにする。
対象	4月からひとり暮らしを始めた新入生（18歳）6人
インタビュー内容 （それぞれについて 内容を考える）	<p>【知識】（例）現在食生活を送るにあたって，どのような知識を使っているのか</p> <p>【態度】</p> <p>【スキル】</p> <p>【強化要因】</p>

〈例題2〉

テーマ	今の自分がつくる，未来の自分の健康について語り合う
目的	50歳代になると肥満に関連する疾患のリスクが著増するため，それよりも前の年代から自分自身の健康管理に目を向ける必要がある。そこで，30～40歳代男性の健康に関する準備要因，実現要因および強化要因を把握し，何をどのように変えることで行動変容につながるのかを考え，目標設定やプログラム作成に役立てる。
対象	30～40歳代のリスク要因のある男性社員6人
インタビュー内容 （それぞれについて 内容を考える）	<p>【知識】</p> <p>【態度】</p> <p>【スキル】</p> <p>【強化要因】</p>

●ワークシート1-11：逐語記録票

学籍番号	氏名		
名前(番号)	逐語記録	他の学習者の様子	分析

●ワークシート1-12：重要アイテムの抽出とカテゴリー化

学籍番号		氏名	
重要カテゴリー	重要アイテム（意味深い内容）	共感した人数	

●ワークシート1-13：アンケート調査の目的と必要性

学籍番号	氏名	
項目	明らかにしたいこと	なぜ？（必要性，出典）
テーマ		
理論仮説		
作業仮説		
対象集団		
対象者特性		

*出典は，調査主体と資料名，調査年月を記載。

*市町村データが入手できない場合，都道府県データを記載する。

●ワークシート1-14：質問文，回答選択肢の作成と修正

学籍番号		氏名	
質問文		問題点	改善案
1か月に何冊くらい，本を読みますか？			
インスタント食品は体に悪いので，極力食べないほうがよいと思いますか？			
給食を直営でつくらない入院施設で病院食をとらなくても，あなたの栄養バランスに悪影響が出ないと思いますか？			
あなたは食の安全性についてどう思いますか？			
有害微生物（細菌，ウイルス等）による食中毒に不安を感じる人がたくさんいますが，あなたはどう思いますか？			
遺伝子組換え食品は健康によいのでしょうか？ あなたは，遺伝子組換え食品を買いますか？			
回答選択肢		問題点	改善点
「あなたは普段どこでお酒を飲みますか？」 A. 大学周辺 B. 下宿先 C. その他			
「あなたは普段どこでお酒を飲みますか？」 A. 新宿駅周辺 B. 恵比寿駅周辺 C. 渋谷駅周辺			
「……には賛成ですか，反対ですか？」 A. 反対 B. やや反対 C. 賛成とはいえない D. 賛成			
「家族で外出に出かけますか？」 A. ほとんど出かけない B. どちらともいえない C. しばしば出かける			
「あなたは，ひと月に家族で何回外出に出かけますか？」 A. 1回以下 B. 2～5回 C. 6回以上			
質問法による回答の違い		相違点	対処法
〈オープン・クエスチョン〉 「あなたが自分ではどうすることもできなくて，思いがけなく巻き込まれる人為的災害（自然災害を除く）について，何を思い浮かべますか？」 「そのうち，あなたが一番危険だと感じているものを1つだけお知らせください」			
〈クローズド・クエスチョン〉 「あなたは列車脱線事故の危険性について不安を感じますか？」 A. 非常に感じる B. かなり感じる C. 少しは感じる D. 全く感じない E. その他			

●ワークシート1-15：公的機関や研究所による二次データ

学籍番号		氏名			
No.	調査機関	調査名	主な内容	発表年月	URL

●ワークシート2-1：MI 不一致の種類

学籍番号		氏名	
管理栄養士の発言（MI 不一致）			MI 不一致の種類
そんなことを続けていては、さらにインスリンの量が増えますよ。			
それなら、運動量を増やすべきですね。ジョギングするのがいいと思います。			
これ以上、血糖コントロールが悪くなったらどうするつもりですか。			
ちゃんと、1日の指示エネルギー量を守ってください。			
あなたのそのやり方は間違っていますよ。			
やる気がないから、できないのですよ。			
現にこうして高い値が出ているわけだし、問題だと思いますよ。			
他の人はできていますし、寝る前の間食をがまんするくらいできますよね。			
ごはんを減らすのは大変でしたね。			

MI 不一致の種類：①許可のない情報提供、②警告、③指示、④問題の直面化、⑤説得、⑥ラベル貼り、⑦否定、⑧議論、⑨同情。

●ワークシート2-2：よいところに着目した対応例（台詞）

学籍番号		氏名	
管理栄養士の 台詞（MI一致）			

●ワークシート2-3：チェンジトークを強化する聞き返し

学籍番号			氏名
クライアントの台詞	維持トーク	チェンジトーク	チェンジトークを強化する聞き返し
<p>「間食をやめようと思っているけれど、3日も続かないんですよね」</p>			
<p>「早起きして朝食をとろうと思ったけど、できなかったんだよね」</p>			
<p>「飲酒をやめられない。やめないと本当にまずいとわかっているけど、寝る前にどうしても飲みたくなるんだ」</p>			

●ワークシート2-4：チェンジトークを引き出す方法と台詞

学籍番号		氏名	
方 法		台 詞	
喚起的（回答がチェンジトークになる）質問			
尺度化の質問			
極端の利用（最悪または最高の結果を質問）			
過去を振り返る質問			
未来を展望する質問			
価値やゴールを探る質問			
アセスメントのフィードバック			

●ワークシート2-5：MIの実際（準備段階）

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

初回面接（D：管理栄養士 A：アベさん）

台 詞	MI 技法
<p>D：アベさん，はじめまして。栄養指導を担当させていただく○○です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>A：こんにちは。</p> <p>D：アベさん，医師から説明があったと思いますが，私から栄養について，30分程度お話をさせていただきます。</p> <p>A：わかりました（不機嫌）。あんまり，うるさいこといわれてもできないよ。糖尿病って，まだそんな年齢でもないでしょ。</p> <p>D：医師より，アベさんのおとう様やおじい様も糖尿病を患っていると伺いました。アベさんご自身で取り組んでいることもおありでしょうし，アベさんの気になることや心配なことをお話いただきたいと思いますが，いかがでしょうか。</p> <p>A：そのほうがいいね。食事の話じゃないんだけど，学生時代，ラグビーをハードにやっていたんですよ。自分でいうのもなんですが，昔は筋肉も多くていい身体でした。働くようになってからは，全く運動できず……。また，運動すればすぐに戻る自信があるけど，特に最近，新規プロジェクトのリーダーとなったので，忙しくてなかなかね……。</p> <p>D：お忙しくて，運動する時間がとれない（語尾を下げる）。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 正したい反射を抑えて，開かれた質問でクライアントの考えを引き出す </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> () な聞き返し </div>
<p>A：そうだね。休日出勤もよくあるくらいだから。一人暮らしなので，仕事終わりに行きつけの居酒屋に寄って，夕食を兼ねて酒を飲むのが唯一の楽しみかなあ。</p> <p>D：仕事終わりに行きつけの居酒屋に寄られるのですね。忙しいと，食事の支度も大変でしょうし，何より一人で夕食をとるのはお寂しい……？</p> <p>A：そう，そう。（身をのりだして）その居酒屋は常連客が多くてね。みんな，気のおけないいい奴らでねえ。話も合うから，楽しいんだよ。</p> <p>D：それは，楽しそうですね。よいストレス解消になりますね。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> () な聞き返し </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 維持トーク </div>
<p>A：そうなんだよ。酒が大好きなので。最近では飲んだり食べたりすることくらいしか，ストレスを解消できないからね。お酒はやめられないな。</p> <p>D：お酒は絶対にやめられない……と（強めに，語尾を下げている）。</p> <p>A：やめられないというか……。飲みすぎないようにしているし，その分，ごはんを食べないようにもしているけどね。</p> <p>D： </p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> クライエントの () の誘導 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 開かれた質問 チェンジトークの強化 </div>
<p>A：ごはんは糖質の量が多いっていうからね。お酒も，ビールは最初の1杯だけにして，あとは焼酎にしている。</p>	

D：お酒はやめられないけれど、意識して焼酎にしている。夕食の米飯量を減らして、血糖値をコントロールしようとしている。すばらしいです。アベさんがやる気になっているので、私のほうから夕食がわりのおつまみのお話をしてもよろしいでしょうか？

A：いいけど。一応、揚げものは控えるようにはしているから、それでもういいよ。

D：揚げものは控えるというのは？

A：若い時から、体重が10kg以上増えているからね。揚げものってカロリー高いんでしょ。

D：おっしゃるとおりです。もう少し、詳しく教えていただけますか。

A：もともと、天ぷらとか、フライとか、揚げものは大好きなんだよ。普段の食事は、外食かコンビニの弁当がほとんどなんだけど、コンビニの弁当もスーパーの惣菜とかでも揚げものが多いよね。安くてお腹いっぱいになるから人気なのかな。管理栄養士さんには怒られそうだけど、みんなが食べてるってことだよ。行きつけの居酒屋では、それを承知で、いろいろ気づかってくれるんだよ。

D：と、おっしゃいますと？

A：つくねとかレバーの焼き鳥とか、ソーセージとか用意してくれる。でも、そういうのだとビールが飲みたくなるから、困るんだ……。

D：なるほど。糖質量の少ない焼酎に合う、おつまみに変えたいと思っている（語尾を下げる）。
どんな料理に変えられそうですか？

A：う～む。居酒屋の大将にまかせているからね……。焼き魚とかかなあ。

D：焼き魚ですか、いいですね。アベさんのお好みに合うかわからないのですが、居酒屋だったら、冷やっことか枝豆もありますね。焼酎に合うという点では、なすの煮びたしとか、きゅうりの漬物とかでしょうか。次回は、外食やコンビニでのお料理の選び方のお話をさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

A：そうですね……（沈黙）。では、次回は、お酒のおつまみにどんなものを食べているか、メモしてくるとするか……。

D：ありがとうございます。それでしたら、このシートを使ってみてください。まずは、日時とお酒の量、おつまみを書くだけでもよろしいです。

～次回の予約を入れて終了～

要約
是認
許可を得た上での EPE

維持トーク
チェンジトーク

チェンジトークに焦点をあてた開かれた質問

是認
開かれた質問

正したい反射を抑えて、開かれた質問

現状の不利益からみられた（ ）トーク

是認
チェンジトークの強化
開かれた質問

是認
EPE

効果的な沈黙

セルフモニタリング

●ワークシート2-6：MIの実際（実行段階）

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

2回目の面接（D：管理栄養士 I：イトウさん）

台 詞	MI 技法
<p>D：こんにちは、イトウさん。お変わりございませんか？</p> <p>I：こんにちは。おかげ様でなんとか自分が糖尿病だということを受け入れられました。</p> <p>D：それは何よりですね。20分くらい、お時間いただいてよろしければ、イトウさんの取り組んだことを教えていただけたらうれしいです。</p> <p>I：いいですよ。前回の先生のお話から、カフェでの食事と、帰宅後の夜食というのをなんとかしないといけないことはわかりました。ですが、通勤時間が長いので、やっぱり、カフェでホットドックとか、 피자とか……、あと、パンケーキ等を食べないともたないですからね。甘いカフェオーレも好きで……。通勤ラッシュも避けられますし。とはいっても、家でホッとする時間も大切なんですよ。やっと家族とも一緒に生活できるようになったので、家内がつくってくれる料理も食べたいですね。極力、22時以降は食べないようにしました。あと、ごはん、パン、麺など、炭水化物？を減らしたくらいかな。</p> <p>D：それはいいですね。 食事は夜10時までには終わるようにした（語尾を下げる）。 けれど、ごはんや、パン、麺類などの糖質が多い「主食」は、少し気になってきている……（語尾を下げる）。</p> <p>I：少しじゃないですよ（不機嫌）。だいぶ気になってますよ。</p> <p>D：と、おっしゃいますと？ もう少し、気になっていることを教えていただけますか？</p> <p>I：いやね。前も話したと思うけど、私の母が糖尿病でね。そういう体質って遺伝するのかなあと、これでもごはんとか減らして気をつけてはいたんですよ。でも、何が悪かったのか、単身赴任中に体重が増えてね……。身体が重いし、駅の階段を上がると息切れとかするようになって……。なんとか痩せたいですね。</p> <p>D：教えていただき、ありがとうございます。身体が重いし、階段を上がると息切れがする（語尾を下げる）。</p> <p>I：はい。最近は、昔みたいにさっと走れなくて、乗り換えの電車に間に合わないこともあって……。エレベーターとかエスカレーターは混雑しているから、並んでいたら通勤に余計時間がかかるようになってね……。情けないです。通勤に余計時間がかかるのは困るけど、主食をこれ以上減らすことはできないし……。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>正したい反射を抑えて、 是認 否定文を肯定文に置き換えて（ ）な聞き返し 弱めの聞き返しでクライアントの（ ） を誘導</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>開かれた質問でクライアントの考えをさらに引き出す</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>現状の不利益からみられた（ ）トーク（願望）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>（ ）な聞き返し</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>現状の不利益からみられた（ ）トーク 維持トーク</p> </div>

D：なるほど。おなかがすくので、これ以上、ごはんやパン、麺類の量は減らせない。一方、身体が重いと速足や走ること、階段を上ることが大変になり、通勤時間が余計延びてしまうので、体重はできれば落としたい……。

I：はい、痩せたいですね。体重を落とせば、血糖値も安定しますよね。

D：……。

これまで伺ったお話ですが、イトウさんは遠距離通勤なので、仕事帰りに軽食をとり、自宅に戻ってから22時までに食事をとる（語尾を下げながら）……。体重を減らしたい、そのために、今できることは何だろう、無理なく取り組めることがあれば知りたい……というお気持ちでしょうか。

I：はい、そのとおりです。何から始めたら、うまくいくでしょうか……？

D：そうですね。もしよかったら、先にイトウさんが頭にうかんでいることを教えていただけますか？

I：……。

自宅に帰ってからの食事は、ごはんを減らすことと、22時過ぎにならないようにすることしかできないと思う。仕事帰りにカフェに寄るのをやめて、駅の売店でおにぎりを買って食べるくらいにしようか……。

D：

I：前回、先生がホットドックとか、ピザ、パンケーキ等はカロリーが高いっていったじゃないですか。おにぎりのほうが血糖値の上昇の仕方も緩やかだし、お茶と合うから甘いカフェオーレもやめられて、一石二鳥。いや、帰りの時間が早くなるから、一石三鳥か……。

D：前回の栄養指導のお話をたくさん覚えていてくださって、ありがとうございます。素晴らしいです。
会社帰りの軽食をおにぎりに替え、甘いカフェオーレをお茶に替えることで、1年後はどうなっていると思いますか？

I：まず、体重が減ると思うね。

D：体重は減って、身体が軽くなる……。

I：そうそう。駅の階段を駆け上がることができて、ますます早く家に着くよね。子どもたちと話す時間ができそうだ。

D：それは素晴らしいですね。

I：そういえば、子どもたちもちらっとそんなことをいってたんですよ。でも、その時は私が嫌な顔をしてしまったもので……。

両面をもった
() な聞き返し

チェンジトーク
()

効果的な沈黙
要約
「計画」段階へ移行

変わることへの質問

情報提供の前にクライアントの考えを引き出す
(EPE)

効果的な沈黙
維持トーク

是認
開かれた質問
チェンジトークの強化

是認
開かれた質問
チェンジトークを引き出す
(未来を展望する) 質問

チェンジトーク (自己の
探索の結果)

() な聞き返し

チェンジトーク (価値の
明確化)

是認

<p>D：もし、お子さんたちと過ごす時間が増えたら、どんないいことがありますか。</p>	<p>チェンジトークを引き出す（価値の垂直探索）</p>
<p>I：身体のキレもよくなるだろうから、休日に子どもたちと一緒に運動するのもいいかもしれませんね。</p>	
<p>D：それは楽しみです。</p>	<p>是認</p>
<p>I：そうだねえ。子どもたちに聞いてみるよ。なんていうか楽しみだ。子どもたちが独立する前に、まだまだかかわりたいから。</p>	<p>チェンジトーク（願望）</p>
<p>D：それでは、さっそくですが、いつから始められますか？</p>	<p>具体的な計画立案</p>
<p>I：明日から、さっそくやってみます。</p>	<p>チェンジトーク（目標宣言）</p>
<p>D：はい、明日からですね。次回、このシートに、日付、軽食・甘いカフェオーレそれぞれの代替がうまくいったか、○×で簡単に記録してきてくださいますか？ 可能であれば、朝、トイレに行った後に測った体重も一緒に記録するといいですね。 ～次回の予約を入れて終了～</p>	<p>セルフモニタリング</p>

●ワークシート2-7：MI の実際（重症化予防の段階）

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

治療再開の栄養食事指導（D：管理栄養士 U：ウエダさん）

台 詞	技 法
D：	
U：	

*必要な行数を挿入して使用する。

●ワークシート2-8：MIの評価

学籍番号			氏名		
指標	計算法	結果	気づいたこと／今後の目標		
聞き返しと質問の割合	聞き返しの数÷質問の数				
複雑な聞き返しの割合(%)	複雑な聞き返しの数÷聞き返しの総数×100				

●ワークシート3-1～3-9：SP演習 栄養アセスメントと指導計画

課題（当てはまるものに○をつける）		外来用 ・ 入院用 ・ 在宅用	
学籍番号		氏名	

栄養アセスメントと課題

アセスメント （対象者の 実態把握）	
課題の抽出 （優先順位を 考慮）	

目標設定

短期目標	
長期目標	

個人栄養食事指導案

本指導の位置づけ： 指導場所： 指導目標： 準備するもの：			
時間(分)	要 点	管理栄養士からの働きかけ	資料・留意点

●ワークシート3-10, 3-11 : SP 演習 フィードバック

課題（当てはまるものに○をつける）		外来用 ・ 入院用 ・ 在宅用	
学籍番号		氏名	

演習後のフィードバック内容

項 目	感想・意見
管理栄養士役学生からの感想	
観察していた各学生からの感想・意見	
SP からの栄養食事指導を受けての感想	
SP の介護者(妻) 役の感想（在宅）	
ファシリテーターからのコメント	

フィードバックを受けての感想

項 目	感想・意見
フィードバックを受けての管理栄養士役学生の感想	

◆ OSCE 評価シート〈観察者（教員）用〉

授業番号 _____

評価者氏名 _____

【インタビューの過程】

- | | 〈しなかった〉 | 〈した〉 | |
|-------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. あいさつ／患者の名前を確認した | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 2. 自己紹介をした | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 3. 患者が話しやすいように質問内容を配慮した | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 4. 視線を向けた | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 5. 豊かな表情, 適切な姿勢やしぐさだった | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 6. 聞き取りやすい声の大きさ, 速さだった | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 7. 適切な言葉遣いやわかりやすい言葉を用いた | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 8. 適切な質問のタイミングや間をとった | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 9. 後半で要約を述べ, 確認した | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 10. 共感的理解の態度を示した | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| 11. 言い忘れたことがないかをたずねた | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | |
| | 〈不可〉 | 〈可〉 | 〈良〉 |
| 12. インタビュー全体の流れ（印象） | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> | 2 <input type="checkbox"/> |

点／13

【情報収集】

- | | 〈しなかった〉 | 〈した〉 |
|--------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 13. 受療行動をたずねた（前医） | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> |
| 14. 医師にどういう説明を受けてきたか確認した | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> |
| 15. 自分の状態を理解しているか確認した | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> |
| 16. 15を具体的に聞いた | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> |
| 17. 栄養指導を受けたことがあるかたずねた | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> |
| 18. 17の内容を聞いた | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> |
| 19. 17の程度を聞いた | 0 <input type="checkbox"/> | 1 <input type="checkbox"/> |

点／7

合計
点／20

◆ OSCE 評価シート 〈SP用〉

	授業番号 _____	評価者氏名 _____	
	〈全くそう 思わない〉	〈少しは そう思う〉	〈大変 そう思う〉
1. マナーや言葉遣いは適切であった	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
2. しぐさ, 姿勢, 動作は適切であった	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
3. 言葉の速さは適切であった	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
4. 自分の話をきちんと聴いてもらえた	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
5. うなづきや視線, 間をもって話せていた	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
6. 話しやすい工夫, 開いた質問をした	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
7. 自分の話をさえぎらなかった	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
8. 質問がないか確認してくれた	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
9. 自分の話は正確に理解されたと思う (確認, 要約, 話の内容などから)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
10. 専門用語を用いず, わかりやすい言葉であった	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
11. この次もこの管理栄養士に話をしたい	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
	合計		点/22

プログラム名：

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

計画

(1) アセスメント

アセスメント (対象者(母集団)の 選定, 実態把握)	
課題の抽出 (優先順位を考慮)	

評価

【企画評価】

(2) 栄養教育計画

1) テーマと目標の設定

テ ー マ：	
教育対象者：	
結果目標 健康の維持・増進に寄与する最終目標	評価指標
行動目標 食行動や食習慣の行動レベルの目標	評価指標
学習目標 食知識, 食態度に関する目標	評価指標
環境目標 環境や周囲の支援に関する目標	評価指標

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

2) 計 画 書

教室名	
対象者	
実施目標	
実施者/ トレーニング	
実施場所・設備	
予 算	
その他	

【企画評価】

3) 教室プログラム (全体計画)

回/ 月日	ねらい	学習形態・ 教 材	内 容	具体的な 評価項目

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

実施

◎学習指導案

本時のテーマ：

本時のねらい：

準備するもの：

展 開：

過 程	学習者の活動	実施者の働きかけ	資料・留意点

【経過評価】
〈学習者〉

〈実施者〉

【形成的評価】

学籍番号	氏名
------	----

評価

【影響評価】

【結果評価】

【総括的评价】

【経済评价】

【総合的评价】